

双柳小学校 6年 せきの 関野 じゅり 珠莉

私の将来の夢

私の将来の夢は、動物保護センターの保護士です。

まず理由は、犬が捨てられていてかわいそうだし、殺処分されていると考えてしまうと心苦しいからです。

犬もちゃんと生き物だし、一つ一つの命を簡単に捨ててほしくないです。

最初からちゃんと飼えないなら飼わない飼うなら最後まで責任をもち重要性をもって飼ってほしいです。

捨てられてしまう犬の気持ちも考えてほしいです。

捨てられてしまう犬は保護センターに送られてしまいます。猫も同じです。

私も犬を飼っていました。その犬も捨てられていて、すごくかわいそうだな、と思ったし、悲しそうでした。でもその犬をたくさんかわいがりました。

それで動物保護センターの保護士になろうと思いました。

私は色々と気になり調べてみました。四つほど調べてみました。

一つ目は、年間で捨てられている犬の“数”です。平成20年は各都道府県において100,000頭を超える引き取りがあって、約82,000頭の犬が殺処分されていました。

100,000頭を超える引き取りがなかったら約180,000頭を超える殺処分があったと思います。

二つ目は、殺処分の行われ方です。

現状行われている殺処分の方法は注射による安楽死や炭酸ガスによる、窒息死です。

窒息死と聞いただけですごくかわいそうだな、と思いました。

経口投与麻酔薬も一部自治体で利用されていますが、動物用医療品として認められていません。

殺処分は出来る限り苦痛を与えないで行うことが決められていますが私からしたら“死”がもう苦痛だと思います。

殺処分の行われ方を調べてすごく心苦しかったです。

1年間で、32,055頭の犬が保護センターに引き取られる理由を見ていきましょう。

32,055件中、3,300件が飼い主からの引き取りであり、残りの28,755件が、所有者不明のための引き取りであることから約1割の犬が飼い主からの引き取りであることがわかりました。

四つ目は、殺処分をゼロに達成するためにしなければならないことです。

日本では1日に350匹の犬や猫が殺処分されており、多くの自治体で殺処分ゼロに向けての取り組みが進められています。

ですが、犬猫より人間を大事にして、という声も多く、人間生活に対する予算が最優先で動物保護に関する予算は二の次になってしまうことが課題の一つでもあります。

私はこれを調べて思ったことがあります。

犬猫より人間を大事にして、というところですが、犬猫も大切な命だよね、と思いました。

人間も大切な命の一つですけど、犬猫も大切にしてほしいな、と思います。「引っ越しなどがあるから」「仕事が忙しくなったから」など飼い主による飼育放棄や迷子、所有者がいないなどの理由で、多くの犬が保護センターに引き取られています。

犬をペットショップで買うときは、可愛いと思うかもしれませんが。

ですが、飼う前に必ず本当に飼えるのか、どうか考えて犬を飼うことの重要性や責任を持って、買ってください。

私も大人になったら、飼いたいなと思っています。

なのでちゃんと責任をもって飼いたいなと思っています。